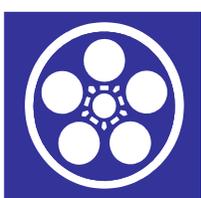
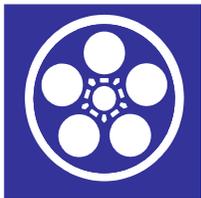


和泉之國

忠岡神社



鎮座

大阪府泉北郡忠岡町忠岡中一丁目二十六番三号

電話 〇七二五・三二・三六二八

御祭神

菅原道真公 (すがはらみちざねこう) 学問の神様 当社の主祭神

素盞鳴命 (すさのうのみこと) 農業・海の神様

狭依毘賣命 (さよりびめのみこと) 外難防禦の神様

武甕槌命 (たけみかずちのみこと) 武道の神様

経津主命 (ふつぬしのみこと) 土木の神様

比咩大神 (ひめおほかみ) 開運の神様

天兒屋根命 (あめのこやねのみこと) 芸能の神様

栲幡千千姫命 (たくはたちじひめのみこと) 織物の神様

天御中主命 (あめのみなかぬしのみこと) 宇宙根源の神様

事代主命 (ことしろぬしのみこと) 漁業・農業・商売の神様 末社の御祭神

由緒

当社は、その創立年代は不祥であるが、神社建築様式(唐破葺春日造り)及び諸般の事情(元禄十四年の寺社改帳にも、古来よりある処の古社であると記載)より判定すれば相当

の古社で、元は菅原神社(泉北郡忠岡村大字忠岡字道村鎮座)と称し、菅原道真公を祀り、

明治五年に村社に列し、明治四十二年四月二十六日・字南戸の村社・八坂神社(素盞鳴命)、

字弁天の村社・巖島神社(狭依毘賣命)、字春日の村社・春日神社(武甕槌命・経津主命・

比咩大神・天兒屋根命・栲幡千千姫命)、同年七月十六日・字戎山の無格社事代主神社(事

代主命(または恵比須神・俗には「えべっさん」ともいう))を合祀し(末社)、同年八月

神饌幣帛料供進社に指定せられ、更に同年十一月九日・大字馬瀬宮の前の村社・天一神社

(天御中主命)を合祀し、明治四十三年四月二十六日、現在の忠岡神社に改称される。